

エルサルバドル政治経済月報

(2017年9月分)

2017年10月
在エルサルバドル大使館

[大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

[大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護、日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し、風通しの良い職場環境の維持。

内政

1 世論調査結果 (9月5-6日付け La Prensa Gráfica 紙)
(1) 国会議員選挙が次の日曜日に実施されたらどの党に投票するか。

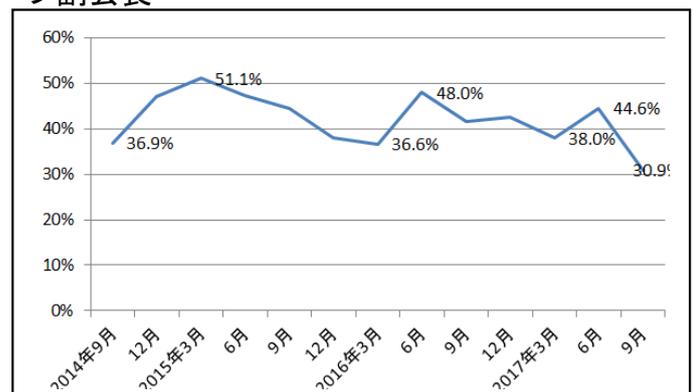
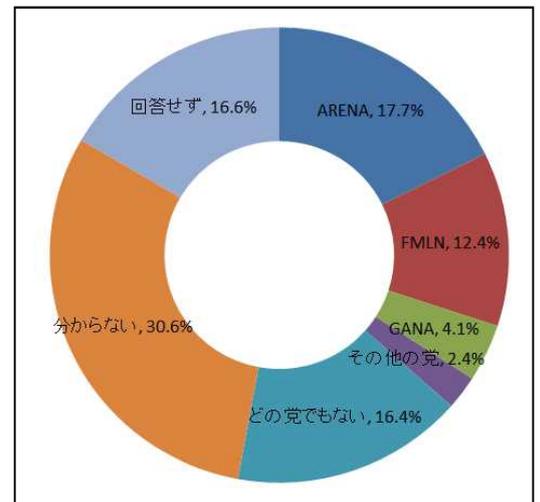
全国共和同盟 (ARENA) がファラブンド・マルティ民族解放戦線 (FMLN) をリードしているが、具体的に投票先を決めていない層が半数近く存在。

(2) 大統領候補にふさわしい人物は誰か。

左派1位：ナジブ・ブケレ・サンサルバドル市長

右派1位：カルロス・カジェハ・カジェハグループ副会長

(3) サンチェス・セレン大統領の支持率
就任から約3年3か月が経過し、過去最低の支持率 (30.9%) を記録。



2 2018年国会議員・全国市長選挙

(1) 各党にて内部選挙が終了し、2018年3月4日(日)の国会議員、各市長・市議会議員選挙への立候補者がほぼ確定。10月4日の公示後、各立候補者の登録開始。

(2) FMLNは、女性市議への差別発言を行ったブケレ・サンサルバドル市長を党倫理委員会へ告発。ブケレ市長が党から追放された場合、来年の市長選には現職の国会議員を立てる予定。

外交

1 対日関係

21日、国連総会開催中の米国・ニューヨークで、2017年ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体(CELAC)議長国であるエルサルバドルは、エクアドル、ドミニカ共和国及びグレナダ外相らとともに河野外相との会談を開催し、日・中南米関係の更なる発展を望む点で一致。

2 対米関係

来年3月で期限を迎える「一時的身分保障(TPS、エルサルバドル人約20万人が対象)」及び5日に廃止の方針が発表された「幼少期に入国した若者たちのための強制退去措置の延期(DACA、エルサルバドル人約3万人が対象)」の再延長を訴えるべく、マルティネス外相及び国会超党派議員団が訪米し、米国議会関係者へのロビー活動を実施。

3 その他

18日にニューヨークで開催されたCELAC外相会合において、10月26-27日にサンサルバドルで予定されていた第3回CELAC・EU首脳会合の2018年1月以降への延期が決定。

経済

(主要経済指標添付)

1 国境税関での検査短縮を目的にした「国境税関中継施設」(ソンソナテ県)の建設開始。本施設建設には3ヶ月を要する見込み。

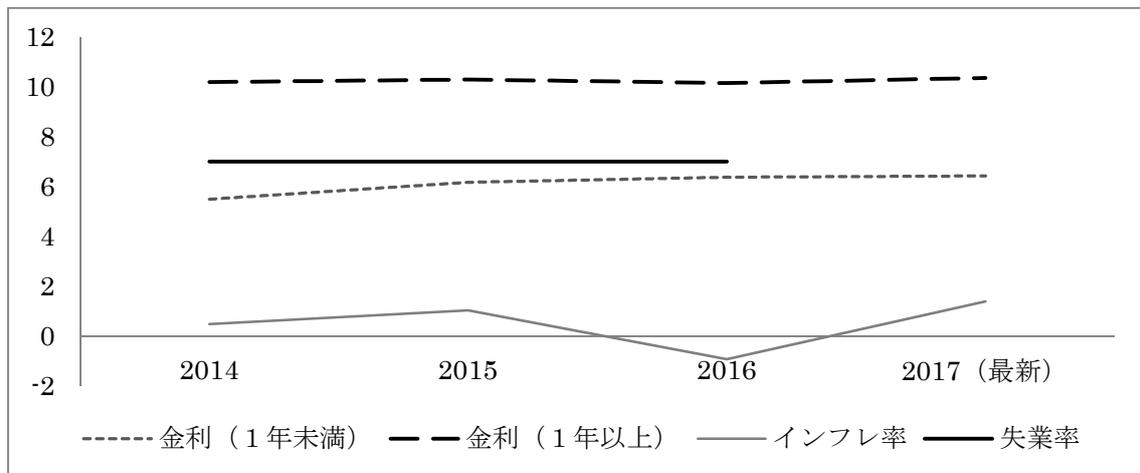
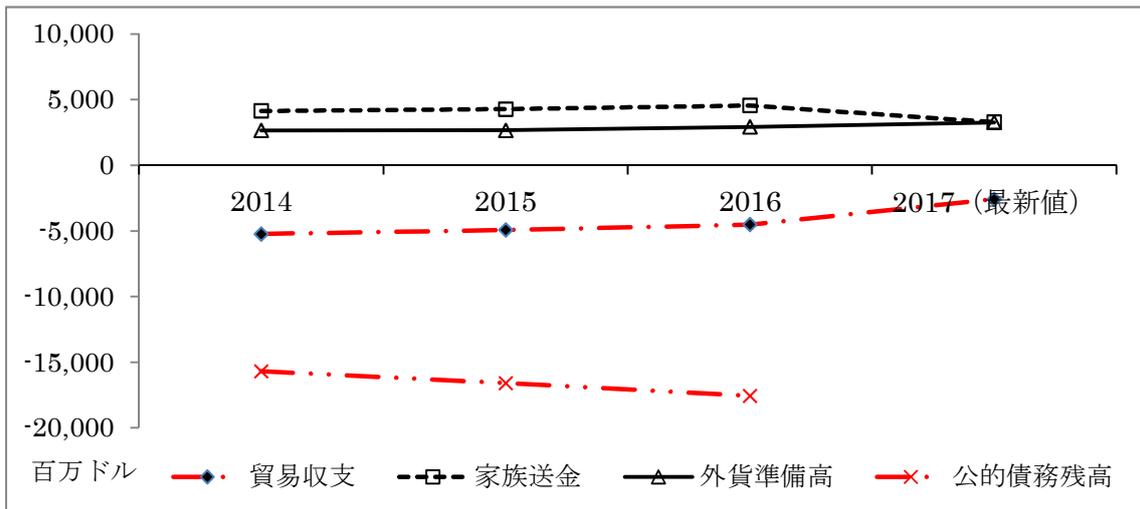
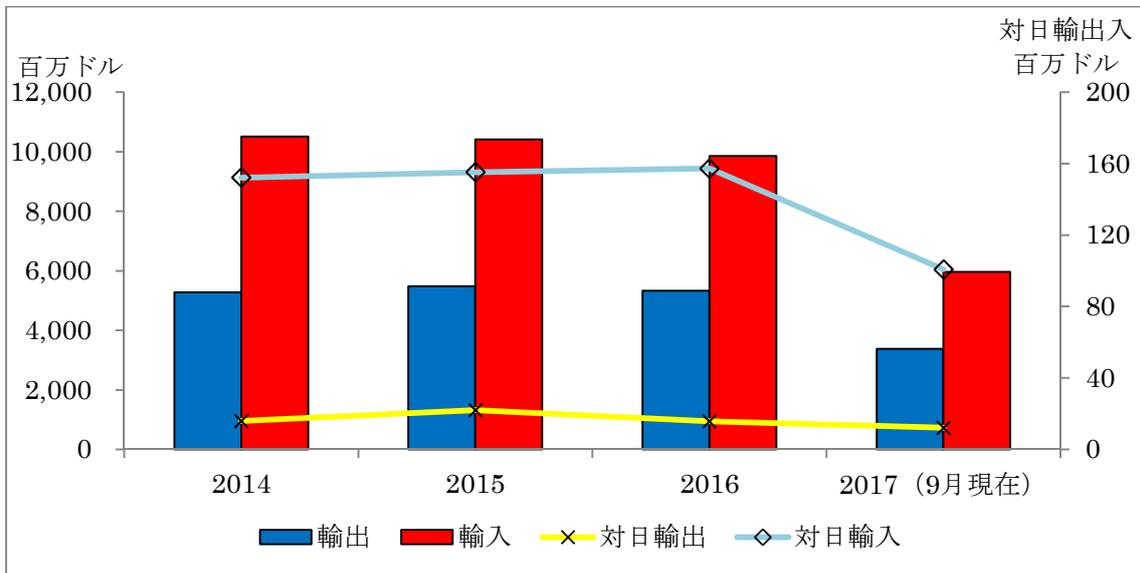
2 ハリケーン「ハービー」により当地ガソリン価格の増加が発表された(中部地域のレギュラーガソリンの指標価格は1ガロン当たり3.07ドルから3.14ドルへ約2%上昇。)

3 約10ヶ月間、当国国会において審議されてきた年金改革法案が9月27日に可決された。主な変更は以下のとおり。

年金掛金：13%から15%。事業者負担：6.75%から7.75%

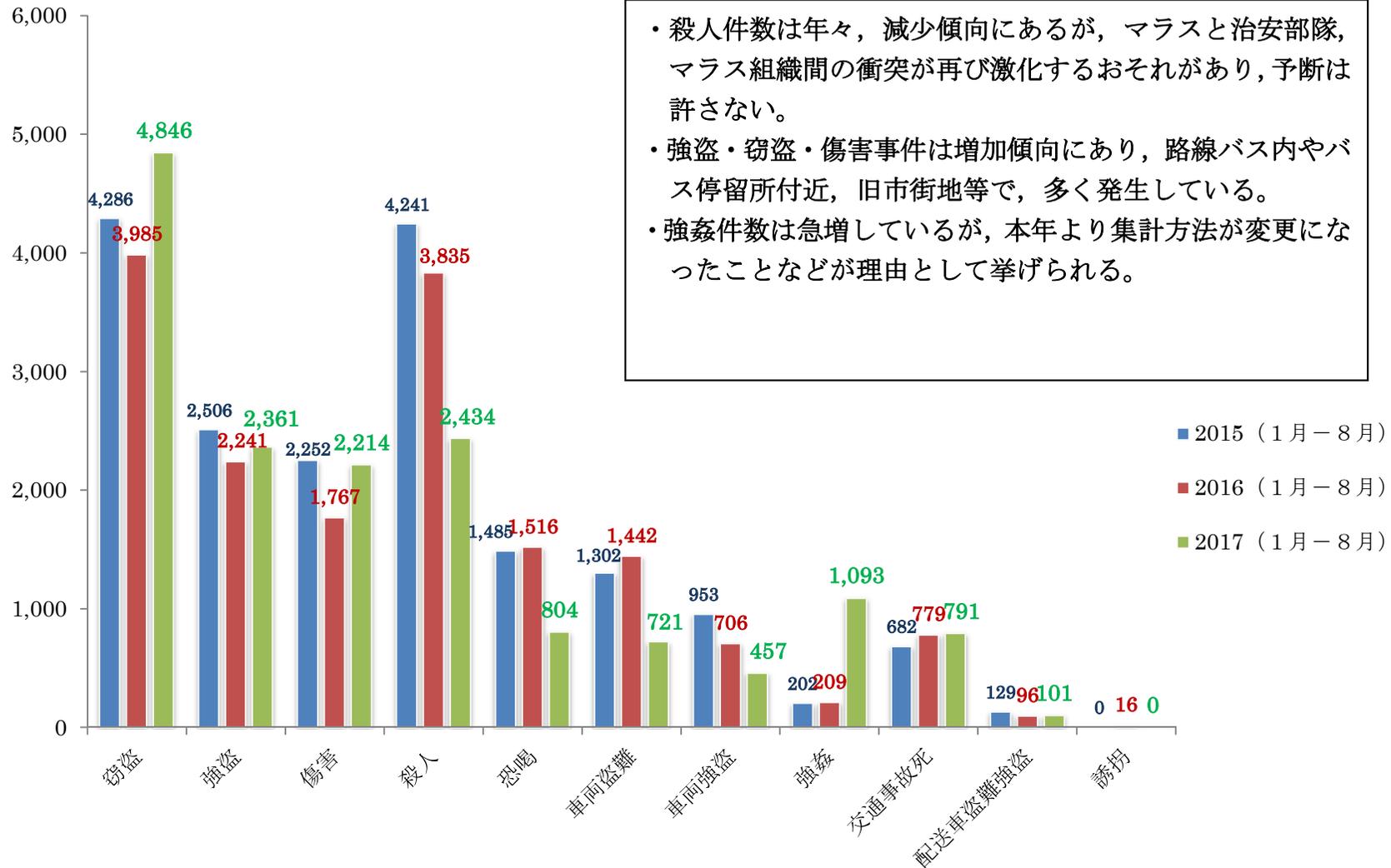
労働者負担：6.25%から7.25%。終身年金制度の導入。

(参考資料)
主要経済指標



出所：中央銀行，経済省統計局より作成

治安



- 殺人件数は年々、減少傾向にあるが、マラスと治安部隊、マラス組織間の衝突が再び激化するおそれがあり、予断は許さない。
- 強盗・窃盗・傷害事件は増加傾向にあり、路線バス内やバス停留所付近、旧市街地等で、多く発生している。
- 強姦件数は急増しているが、本年より集計方法が変更になったことなどが理由として挙げられる。

■ 2015 (1月-8月)
 ■ 2016 (1月-8月)
 ■ 2017 (1月-8月)

(参考資料)

治安

(1) 9月13日、当地主要紙によると、サンタ・アナ市内を走行する公共バス（ルート55）車内にて、3人の強盗がバスに乗り込んだが、たまたま乗り合わせていた休暇中の警察官が危険を察知し、所持していた拳銃にて強盗に発砲し、1名射殺、2名は逃走した。公共バスについては、本件以外にも、多くの事件が発生しており、特に、乗客と強盗との銃撃戦が多く発生している。

(2) 9月19日、報道によると、サンチェス・セレン大統領は、サンサルバドル市内をより安全にするために、軍隊及び警察官の市内パトロール及び配置増強をする旨、発表した。まず最初により危険とされている25カ所（中央市場、バスターミナル、バス停留所、大学周辺等）を重点に軍隊及び警察官の配置を行い、治安改善を推し進め、その後、諜報局の調査を踏まえ、30カ所に展開していく予定である。

(3) 9月21日、当地主要紙によると、サンサルバドル市エスカロン地区マスフェレールの円形交差点付近の私有地にて、草刈り業務を行っていた男性1名が、数名の襲撃者により射殺された。治安当局によると、殺害された男性は、元MS-13のメンバーであり、殺害現場では、他に数人の従業員が草刈りに従事していたが、殺害されたのは、当該男性1名のみであったことから、マラスの粛正によるものと考えられている。エスカロン地区は比較的安全であると言われているが、マラスはターゲットがいれば、どこにでも、その存在を露わにするため、犯罪被害に巻き込まれぬよう常に周囲を警戒する必要がある。

(4) 9月28日、報道によると、今年に入り、警察官33名、軍人16名、中央刑務所看守2名がマラスにより殺害された。そのほとんどが、休暇中に殺害されたものであった。今後も治安部隊とマラスとの衝突が激化するおそれがあり、治安状況を注視していく必要がある。